

令和 8 年（2026 年）熊本地震による建築物の非構造部材の被害調査報告（速報）

5

国土交通省国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人 建築研究所

1. 調査目的

10

本調査は、令和 8 年熊本地震により、熊本県において確認された建築物の非構造部材（外装、ガラス、天井等）について外観により被害の概要を把握し、追加調査の必要性の検討に必要な情報、資料を収集することを目的とした。なお、本調査は国土交通省住宅局の要請を受けて行ったものである。また、被害状況に関する記述は、調査時点における学術的・技術的観点からの調査結果に基づくものであり、各自治体が発行する罹災証明書における全壊、半壊等の被害認定とは関係しない。

15

2. 調査者

本調査の調査者は以下の通りである。

20

国立研究開発法人 建築研究所	建築生産研究グループ	主任研究員	沖佑典
〃	建築生産研究グループ	研究員	八木尚太郎
〃	構造研究グループ	研究員	黒澤未来

3. 調査範囲

3. 1 調査対象

調査地は熊本県熊本市、八代市、宇土市、宇城市、氷川町である。図 3.1 に調査地を示す。

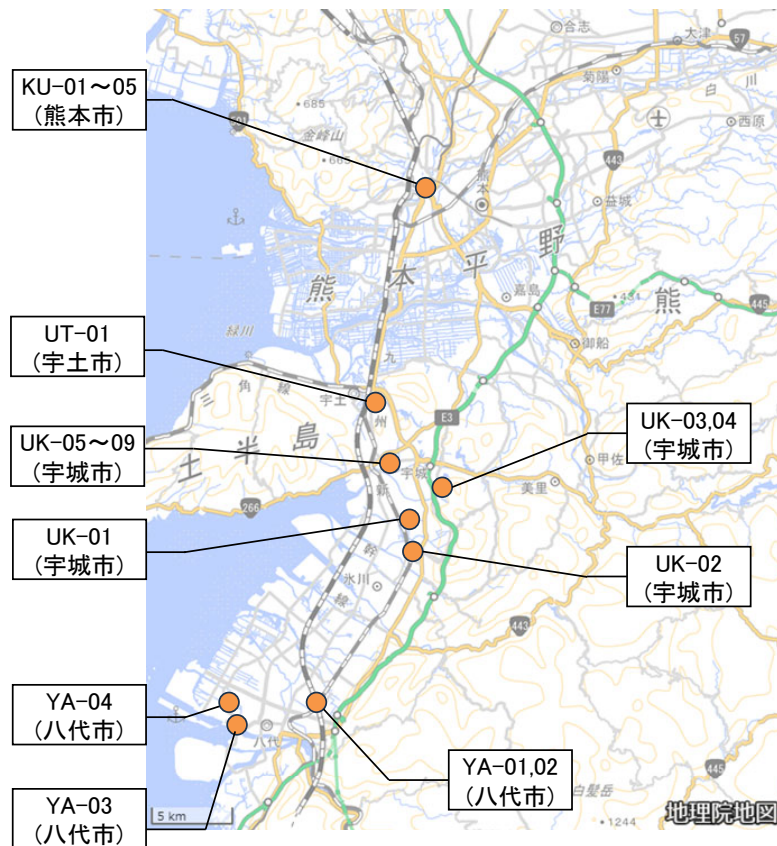


図 3.1 調査地（地理院地図に加筆）

3. 2 調査スケジュール

2026 年 8 月 4 日（火）

15:30 熊本空港到着、調査開始（移動）

5 16:00～19:00 熊本市内の調査

2026 年 8 月 5 日（水）

8:00 頃～15:30 八代市内の調査

16:00～16:30 氷川町内の調査

10 16:30～18:30 宇城市内の調査

2026 年 8 月 6 日（木）

8:00 頃～11:00 頃 宇城市内の調査

11:30～12:00 宇土市内の調査

15 12:30～14:30 熊本市内の調査

15:30 熊本空港到着、調査終了

4. 非構造部材等に関する調査結果

以下に、各市町で確認された建築物の非構造部材等や周辺状況に関する調査結果を示す。建築物の諸元については公表資料から確認したものである。写真には個人情報保護等の観点から、部分的にマスキングしている。なお、調査スケジュールには氷川町を調査対象として挙げているが、
5 外観調査した範囲では非構造部材等の被害が見られなかったため、ここでは特に写真を掲載していない。

※記号の定義一覧

KU：熊本市

YA：八代市

10 UT：宇土市

UK：宇城市

4. 1 熊本市の調査結果

(1) KU-01 (事務所)

15 本建築物は熊本市中央区に位置する 1988 年竣工、地上 13 階地下 1 階建ての事務所建物である（写真 KU-01-a）。8 階において外壁パネルの面外変位と角部の損傷が確認された（写真 KU-01-b~d）。



写真 KU-01-a 外観

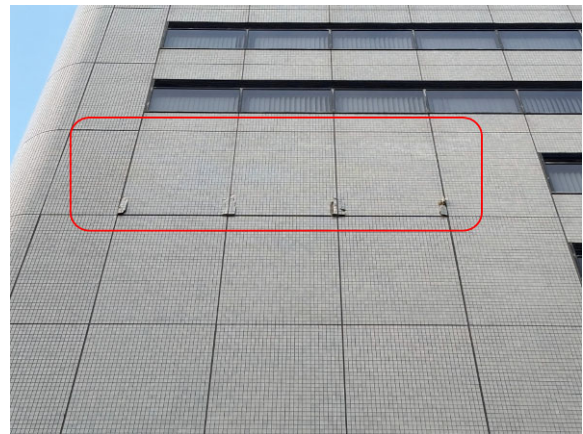


写真 KU-01-b 8 階外壁の被害状況



写真 KU-01-c 目地部の被害状況

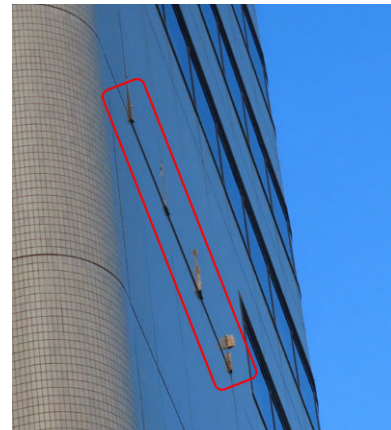


写真 KU-01-d 下から見上げた様子
※赤枠部分が面外に変位している

(2) KU-02 (複合商業施設)

本建築物は熊本市中央区に位置する 1988 年竣工の店舗・飲食店等の複合商業施設である。鋼製下地材に天井板をねじ留めする、在来工法による軒天井の天井板の一部の脱落が確認された(写真 KU-02-a,b)。



写真 KU-02-a 軒天井の被害状況



写真 KU-02-b 別角度からの近接写真

5

(3) KU-03 (駐車場)

本建築物は熊本市中央区に位置する 1979 年竣工、地上 7 階地下 1 階建ての鉄骨造の駐車場である(写真 KU-03-a)。塔屋の外壁において外装材のコーナー部でのひび割れが確認された(写真 KU-03-b)。



写真 KU-03-a 外観

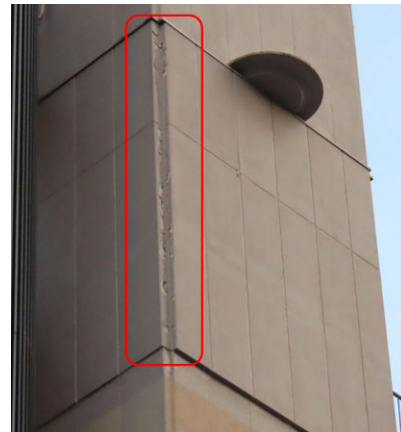


写真 KU-03-b 外装材の被害状況

10

(4) KU-04 (アーケード)

熊本市中央区に位置する商店街のアーケードである。軽量形鋼による下地に直接天井板がねじ留めされた軒天井の天井板の脱落が複数箇所で確認された (写真 KU-04-a~d)。

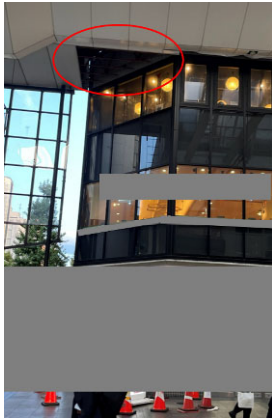


写真 KU-04-a 軒天井の被害状況



写真 KU-04-b 写真 KU-04-a の被害の別角度からの近接写真



写真 KU-04-c 別箇所の軒天井の被害状況



写真 KU-04-d 写真 KU-04-c の被害の別角度からの近接写真

5 (5) KU-05 (複合商業施設)

本建築物は熊本市中央区に位置する複合商業施設である (写真 KU-05-a)。報道で看板の脱落が確認されており、現地では取り付け元の様子が確認された (写真 KU-05-b)。

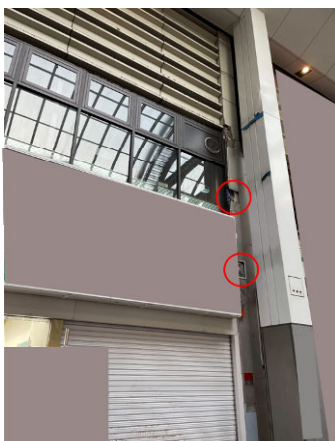


写真 KU-05-a 外観



写真 KU-05-b 脱落した看板の取り付け元

4. 2 八代市の調査結果

(1) YA-01 (駅舎)

本建築物は八代市上日置町に位置する 2003 年竣工、地上 2 階建ての駅舎である (写真 YA-01-a)。東側の外壁において外壁パネルとガラスの被害が確認された (写真 YA-01-b~g)。ガラスが割れた箇所では枠材のズレも確認された (写真 YA-01-b,c)。また、鉄骨部材にも変形が確認された (写真 YA-01-h)。なお、反対側の西側では外観から被害は確認されなかった。



写真 YA-01-a 外観

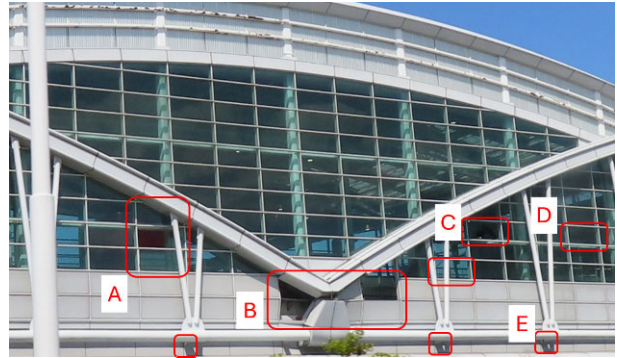


写真 YA-01-b 外壁パネル等の被害状況



写真 YA-01-c ガラスと枠材の被害
※写真 YA-01-b の A 部



写真 YA-01-d 枠材のズレ
※写真 YA-01-c の赤丸部



写真 YA-01-e 外壁パネルの脱落
※写真 YA-01-b の B 部



写真 YA-01-f ガラスの被害
※写真 YA-01-b の C 部



写真 YA-01-g ガラスの被害
※写真 YA-01-b の D 部



写真 YA-01-h 鉄骨部材の変形
※写真 YA-01-b の E 部

(2) YA-02 (宿泊施設)

本建築物は八代市上日置町に位置する 2007 年竣工、地上 10 階建ての宿泊施設である（写真 YA-02-a）。外壁パネルの目地部およびその周辺においてタイルのひび割れ・剥落が確認された（写真 YA-02-b）。

5



写真 YA-02-a 外観



写真 YA-02-b 外壁パネルの被害状況

※写真 YA-02-a の 4 階、左から 3 つ目の窓の右下の近接写真
※当該箇所以外にも複数箇所被害が見られた

(3) YA-03 (複合商業施設)

本建築物は八代市建馬町に位置する 2005 年竣工、地上 4 階建ての複合商業施設である (写真 YA-03-a)。南側のエントランスのガラスの被害や扉の脱落が確認された (写真 YA-03-b)。また、柱の外装材の傾きが確認された (写真 YA-03-c)。北側の店舗では、扉の傾きが確認された (写真 YA-03-d)。

5



写真 YA-03-a 外観



写真 YA-03-b 南側のエントランスの被害状況



写真 YA-03-c 柱の外装材の傾き



写真 YA-03-d 北側の扉の傾き

(4) YA-04 (複合商業施設)

本建築物は八代市沖町に位置する 2004 年竣工の複合商業施設である (写真 YA-04-a)。外壁の ALC パネルの面外変位が確認された (写真 YA-04-b)。



写真 YA-04-a 外観



写真 YA-04-b ALC パネルの被害状況

4. 3 宇土市の調査結果

(1) UT-01 (店舗)

本建築物は宇土市善道寺町に位置する 2012 年竣工の地上 1 階建て S 造の店舗である (写真 UT-01-a)。開口部のサッシ上部が外れて面外方向に傾いている様子が確認された (写真 UT-01-b)。

5 また、半屋外のエリアにおいて、垂れ壁の内装材の一部脱落が確認された (写真 UT-01-c)。



写真 UT-01-a 建物外観

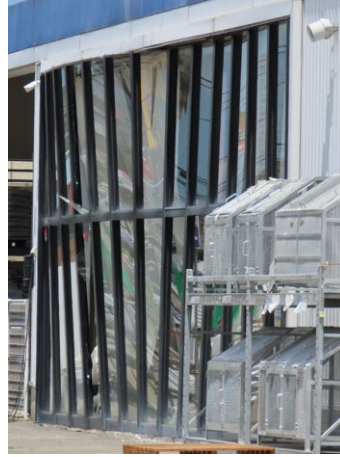


写真 UT-01-b 開口部の被害状況



写真 UT-01-c 垂れ壁の内装材の脱落

4. 4 宇城市の調査結果

(1) UK-01 (工場)

本建築物は宇城市松橋町に位置する工場である(写真 UK-01-a)。外装材の被害が確認された(写真 UK-01-b)。



写真 UK-01-a 外観



写真 UK-01-b 外装材の被害状況

5

(2) UK-02 (工場)

本建築物は宇城市松橋町に位置する 2002 年竣工の工場である(写真 UK-02-a)。外壁パネルの脱落が確認された(写真 UK-02-b)。



写真 UK-02-a 外観



写真 UK-02-b 外壁パネルの被害状況
※写真 UK-02-a の赤枠部分の近接写真

(3) UK-03 (複合商業施設)

本建築物は宇城市松橋町に位置する地上 1 階建ての複合商業施設である。在来工法による軒天井や内部の天井の被害が確認された (写真 UK-03-a,b)。また、柱周辺で在来工法による天井の脱落や内装仕上げ材の脱落が確認された (写真 UK-03-c,d)。



写真 UK-03-a 外観



写真 UK-03-b 軒天井の天板の脱落



写真 UK-03-c 柱周囲の天井の脱落



写真 UK-03-d 柱周囲の内装仕上げ材の脱落

5

(4) UK-04 (店舗)

本建築物は宇城市松橋町に位置する 2015 年竣工、地上 1 階建ての店舗である。在来工法による軒天井の天板の脱落が確認された (写真 UK-04-a) ほか、外付けの建具枠の脱落・転倒が確認された (写真 UK-04-b)。



写真 UK-04-a 軒天井の被害状況



写真 UK-04-b 外付けの建具枠の被害状況

※元は赤点線部分に設置されていたと
推測される

(6) UK-05 (庁舎)

本建築物は宇城市松橋町に位置する地上3階建ての庁舎である。東側において1階で3か所、2階で1か所、窓ガラスの被害が確認された(写真 UK-05-a)。特に2階の窓ガラスについては、防煙垂れ壁とみられる部材が窓の外に出ていることが確認された(写真 UK-05-b)。また、2007
5 年竣工の隣接する別棟の北側において1階のガラス扉の被害が確認された(写真 UK-05-c)。



写真 UK-05-a 外観



写真 UK-05-b 防煙垂れ壁と思われる部材が外に出ている様子



写真 UK-05-c 別棟のガラス被害

(6) UK-06 (複合公共施設)

本建築物は宇城市松橋町に位置する 1998 年竣工、地上 2 階建ての複合公共施設である。ガラスファサードにおいて、ガラス扉の被害が 2 か所で確認された(写真 UK-06-a~c)。写真 UK-06-a の奥に位置するガラス扉(写真 UK-06-c)においては、デッドボルト周辺の変形が確認された(写真 UK-06-d)。

5



写真 UK-06-a 建物外観



写真 UK-06-b ガラス扉の被害状況
(写真 UK-06-a の手前の扉)



写真 UK-06-c ガラス扉の被害状況
(写真 UK-06-a の奥の扉)

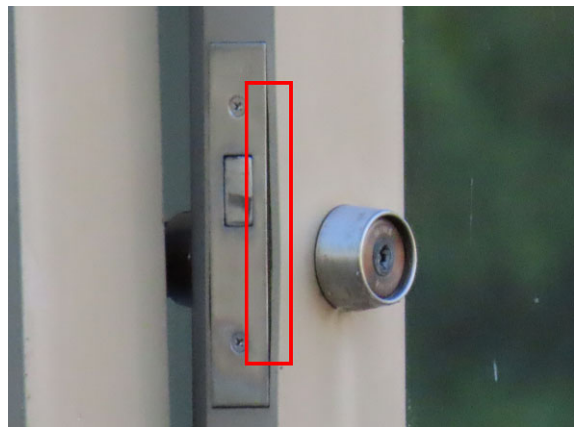


写真 UK-06-d デッドボルト周辺の被害状況
(写真 UK-06-a の手前の扉)

(7) UK-07 (遊技場)

本建築物は宇城市松橋町に位置する 1 階建ての遊技場である(写真 UK-07-a)。報道等で建物の隅にあった装飾柱上部の脱落が報告されており、在来工法による軒天井の天井板の脱落が確認された(写真 UK-07-b)。

10



写真 UK-07-a 外観



写真 UK-07-b 軒天井の被害状況

(8) UK-08 (店舗)

本建築物は宇城市松橋町に位置する店舗である（写真 UK-08-a）。外装材や在来工法による軒天井の天井板の脱落のほか、ガラスの被害が確認された（写真 UK-08-b）。また、設備近傍の間仕切壁の下地の被害が確認された（写真 UK-08-c,d）。



写真 UK-08-a 外観



写真 UK-08-b ガラスの被害状況

※間仕切壁から撤去されたとと思われる下地材
(写真左側)



写真 UK-08-c 設備近傍の間仕切壁の
下地の被害



写真 UK-08-d 設備近傍の間仕切壁の
下地の被害

(9) UK-09 (宿泊施設)

本建築物は宇城市松橋町に位置する4階建て宿泊施設である(写真 UK-09-a)。東面の3,4階および屋上塔屋のALCパネルや窓の脱落が確認された(写真 UK-09-b~d)。ALCパネルは縦壁挿入筋構法によるものである。南面、西面の壁においてもALCパネルの面外変位が確認された(写真 UK-09-e,f)。

5



写真 UK-09-a 外観



写真 UK-09-b 東面の被害状況



写真 UK-09-c 脱落した ALC パネル



写真 UK-09-d 脱落した窓



写真 UK-09-e 南面の被害状況

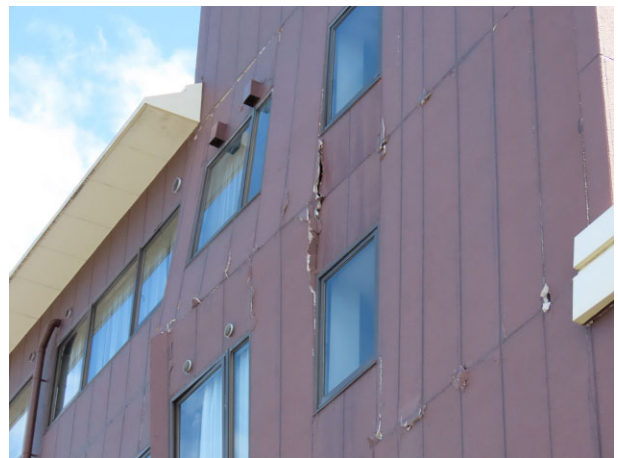


写真 UK-09-f 西面の被害状況

5. まとめ

令和 8 年熊本地震により、熊本県において確認された建築物の非構造部材（外装、ガラス、天井等）について被害の概要を把握するため、報道等で事前に被害情報があった建築物の非構造部材の被害状況やその周辺の非構造部材の状況について、外観による調査を行った。現地調査の結果、以下の被害が確認された。

- 5 1) ガラス（同構面内の枠材やガラス扉等を含む）の破損、扉の傾き等の被害が見られた。
- 2) 外壁・外装の被害として、ALC パネルの損傷・脱落、外装材の傾き等の被害が見られた。
- 3) 天井等の被害として、店舗の軒天井などにおける天井高の低い吊り天井の比較的広範囲な落下、垂れ下がりが見られた。落下が見られた軒天井は、鋼製下地が用いられたいわゆる在来
- 10 工法によるものであった。その他、外側から見られる範囲でも、構造体（柱）際の内装材と天井との取り付け部における天井の部分的な損傷等が見られた。

おわりに

- 本地震で亡くなられた方及びそのご遺族に対し、深く哀悼の意を表します。また、被災された
- 15 皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を祈念いたします。

本調査の実施にあたり、現地での被害状況等のヒアリング、情報提供等にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。